

FFG

FREE
¥0
ご自由にお持ち帰りください。

ディスクロージャー誌

2017

あなたのいちばんに。編



特集

FFG設立10周年記念

つながり約束



My Town Vol.15



熊本編

一歩ずつ、「創造的復興」を目指して

“進化”に向けた取組みの加速へ

トップメッセージ

いっしょなら
もっと強くなれる

商品&サービス
ラインナップ

住まいるな話

いますぐできる、
「魅せる」暮らし

平成28年度の

業績ハイライト

FFGの社会的責任

CSRレポート

想いをともに、新たな一歩を。

あなたのいちばんに。

Contents

- 03 トップメッセージ
“進化”に向けた取組みの加速へ
- 05 第一特集
FFG設立10周年記念「つなぐ約束」
- 09 第二特集
いっしょならもっと強くなれる
- 17 FFGの商品&サービスラインナップ
- 19 FFG TOPICS
- 21 CSRレポート2016-2017
Focus on 『気付きを求めて地域へ』
環境共生活動
生涯学習支援
ユニバーサルアクション
- 26 建築士が提案する「住みいるな話」
～いますぐできる、「魅せる」暮らし～
- 27 来て！見て！My Town～熊本編～
- 29 FFG経営戦略
- 30 業績ハイライト
- 34 FFGのプロフィールとネットワーク

鮮やかな水色、橙、緑。

そして、3色を繋ぐ濃紺――

これらの色から、何を連想しますか？

ふくおかフィナンシャルグループが

設立10周年を迎えたこの春、

震災発生から1年が経った熊本の地に

福岡・熊本・親和の行員が集結し、

3日間にわたって

イベント運営に携わりました。

普段は、

所属する銀行のカラーや看板を背負い
それぞれの地で

銀行員としての働きを全うしながら

この10年、積み重ねてきたのは



平成29年4月14日～16日開催「未来へ向かって 笑顔あふれる熊本へ」運営時の様子

FFGカラーである濃紺が3色に交わり、
行員たちを結ぶ、こんな場面。

全員で輪となり、

「あなたのいちばんに。」の志を共有する。

個々が今できることを考え、

向き合い方を広げながら

グループとしての意識や力を高めていく。

そうして、たくさんのお会いや経験から

お客さまや地域、仲間への想いも

深めてきました。

支店の銀行員として、
まちの一員として、

私たちが一人ひとりの顔、組織の色から

「身近な・頼れる・先を行く」を感じ、

いちばんに思い出していただけ

存在でありたい。

これから先も、

皆さまに選ばれるFFGを目指し、

一丸となって進んでいきます。

「ザ・ベストリージョナルバンク」を目指して

”進化“に向けた取組みの加速へ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

平成28年度の事業概況

平成28年度の国内経済は、新興国経済減速の影響等から、輸出・生産に鈍さが見られましたが、年間を通じた雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費が底堅く推移し、企業収益が改善する中で設備投資も増加基調を維持するなど、総じて緩やかな回復基調が続きました。

私どもの地元九州でも、熊本地震の影響がありますが、自動車・半導体関連といった当地主要産業を中心に、旺盛な海外需要に基づく増産が行われるなど、緩やかではあるものの回復に向かいました。

金利面では、日銀が導入したマインナス金利政策により、低金利環境がさらに進みました。

このような金融経済環境のもと、第5次中期経営計画の初年度にあたる平成28年度の当社グループ

ふくおかフィナンシャルグループ
取締役社長

柴戸 隆成

アの業績は、マイナス金利等を受けて貸出金利回りが低下したことに加え、市況の悪化に伴い資産運用商品販売が伸び悩みましたが、貸出金残高の積み上げや法人関連手数料の増強等に取り組んだことで本業の収益力を示すコア業務純益（3行合算）は713億円となり、計画比プラスを確保しております。

なお、FFG連結当期純利益は「のれんの一時償却」を行った結果、543億円の当期純損失となりました。

これは当社が保有する熊本銀行および親和銀行の株式について、経営統合時に想定されなかった経営環境の著しい変化、とりわけマイナス金利の影響等を踏まえ、株式価値の再評価を行った結果、両行の株式評価損を計上し、併せて両行の経営統合に係る「のれん未償却分948億円」を一括で償却したことによるものです。本件は一過性の会計処理に伴う赤字であり、この影響を除きますと連結当期純利益は前年に続き400億円を超える水準を確保し、概ね計画どおりとなりました。

業容面では、平成29年3月末の3行合算の預金残高が13.6兆円、

貸出金残高は11.5兆円となりました。特に貸出金は年率6.8%と、営業基盤の拡大は順調に進捗しています。

平成29年度の取組み

平成29年度は、第5次中期経営計画の2年目として、金融サービス・営業スタイル・人材・組織などのあらゆる面において、進化に向けた取組みを加速させ、長期ビジョン「持続的に高い競争力・成長力を実現する『ザ・ベストリージョナルバンク』」を目指します。

特に、人口減少・少子高齢化社会の進展や低金利環境の長期化、異業種参入による競争激化などを踏まえると、銀行の収益環境は今後さらに厳しくなることが想定されます。

こうした環境下においても持続的な成長を実現するためには、これまでの預金や貸出などの伝統的なビジネスだけでなく、変化を先取りして、従来の枠組みに捉われない、お客さまの期待を超える事業・サービスを創り上げることが必要となります。

お客さまの事業内容や成長可能

性などを適切に評価し、融資やアドバースを行う事業性評価の取組みをこれまで以上に強化しつつ、昨年新設した保険子会社を活用したコンサルティング営業や、投資子会社によるベンチャー企業への投資など、お客さまに対してグループ一体となつて最適なサービスを提供していく体制を強化します。

また、昨年から展開しているIBank事業をはじめ、急速に進んでいる情報通信技術を活用した融資商品や資産運用サービスなど、新しい事業やサービスの提供に向けた取組みを本格化していきます。

こうした取組みを早期に実現するために、業務の効率化や営業力の強化を目的とした「働き方改革」にも積極的に取り組んでまいります。

平成29年度通期の業績見通し

平成29年度通期の業績予想は、コア業務純益（3行合算）732億円、FFG連結当期純利益490億円を計画しております。

前年度の「のれんの一時償却」により本年度以降は年間92億円の償却負担がなくなる分、連結当期純利益は押し上げられることとなります。

また、当社では配当性向30%程度とする業績連動型の配当テーブルを設定しており、平成29年度の一株当たり配当予想は年間15円としております。今後も業績向上に応じた株主還元で、株主の皆さまの期待に応えてまいります。

設立10周年を迎えて

当社グループは、平成29年4月2日に設立10周年を迎えました。これもひとえに、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまからの温かいご支援・ご愛顧の賜物と、心より感謝しております。

これまでの10年間への感謝の気持ちと、これからの新しい未来に向けて、「地域とともに新しい未来へ」をスローガンに、年間を通じて設立10周年記念事業を実施いたします。皆さまには、今後ともなお層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

「つなぐ約束」

ふくおかフィナンシャルグループには、10年前の設立時から
皆さまにお伝えしている「3つの約束」があります。
そこから、どう私たちが行動し、何を実現してきたのか。
そして、これから10年先に向けた約束を、ここで再び――

いちばん
身近でありたい――

設立当初から掲げてきた 3つの約束

――いちばん
頼れるの実現

いちばん
先を行く銀行――

歴史を重ねてきた
会社間の経営統合――

それは、あっても50年100年に一度の出来事であり、ましてや、1年のうちに3社を統合し、同じエリアに根を張る地方銀行同士が一つのグループになるのは、ほぼ前例のないことでした。けれども、ふくおかフィナンシャルグループ(以下、FFG)は幾多の課題を乗り越え、平成19年に経営統合を実現。地域の皆さまに向けて3つの約束を掲げ、新たなステージを歩み始めました。

その背景にあったのは、当時銀行業界全体が抱えていた不良債権問題の解決による地域金融システムの安定化を急務とする状況。加えて、私たちが暮らす九州においては、県境を越え「エリア一体」としてヒトや経済が動き始める中、今後の成長戦略へのビジョンが求められていました。

地方銀行同士が手を組む形態は、まさにチャレンジ。しかし、各銀行には、長年それぞれの地元で育んできた営業基盤(店舗網)やノウハウという礎があります。何よりも、「地域経済、ひいては九州経済の活性化に繋げる」という共通の志が大きな原動力になりました。そのために、経営統合によるメリットや効率性の追求に向けて据えた柱が、事務・システム・商品といった「内面の共通化」、

海外拠点

- ・アジアを中心とする全8駐在員事務所の設置
- ・商談会開催

店舗

- ・新規出店 8店
- ・リニューアル 70店
- ・ユニバーサルデザイン導入



健全化

- ・FFG不良債権比率 5%⇒2%へ
- ・お取引先に係る不良債権問題の解消と事業再生の同時実現



お客さまと 銀行の交わりは、 幅広く、自由に

ATM

- ・平成26年4月新型導入
- ・グループ3行通帳相互利用
- ・多言語対応

地方創生

- ・福岡銀行ほか全国各地の地方銀行8行との広域ネットワーク構築
- ・産学官など外部連携強化

情報通信 技術との融合

- ・タブレット端末導入
- ・インターネットバンキングリニューアル
- ・お金管理アプリ導入



事務システム 共通化

- ・平成21年1月～熊本銀行
- ・平成22年1月～親和銀行
- ・商品サービスの共通化

グループ企業

- ・広域展開型の総合金融グループとして会社新設、連携強化



人財

- ・FFG設立以降、グループの一員となった3行行員計3,000名超の育成

向き合いは、 深く

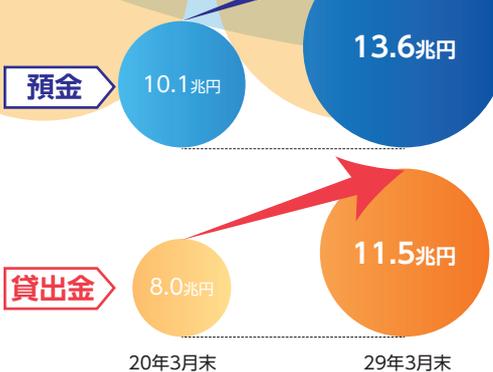


地域社会 への貢献

- ・営業店独自の取組み
- ・CSR活動(環境共生活動、生涯学習支援、ユニバーサルアクション)
- ・FFG文化芸術財団



■業容の推移



そして今、業績面、業容面においても着実な成長を続けています。

組織として
金融機関の一員として
地域とともに在る企業市民として

そして「シングルプラットフォーム・マルチブランド」と呼ぶ、他にはない経営スタイルの構築です。

とはいえ、歩を進める中では、さまざまな周辺環境の変化もありました。人口減少や少子高齢化の加速、低金利環境の長期化、情報通信技術の発展、銀行業務への異業種参入などはその一例で、そうした動きにも対応しながら、3つの約束に通ずる「FFGらしさ」を込めて各種アクションを実践してきました。

これまでどと、これから
変わるもの、変わらないもの

設立から10年間、周囲の状況やニーズの変化に合わせて、新たな手段や仕組みなどを柔軟な考えのもと見出し、挑戦してきたFFGには、「変わった」ところがたくさんあります。けれども、その根底にはずっと、「お客さまのお悩みや課題を捉え、解決策やご提案に向けた動きをいかに深めていくか」という揺るぎない信念がありました。お客さまお一人おひとりの関係をしっかりと築いていくFFGの姿勢は、これまでも、これからも変わりません。

この考えは、FFGのグループ経営理念と、それに基づくブランドスローガン「あなたのいちばんに。」に通ずるものです。設立当初から掲げる「いちばん身近な・いちばん頼れる・いちばん先を行く」という約束は、このスローガンの体現において必須のものであり、これからも変わらず、私たちグループ全役職員の姿勢として実践し続けていきます。

ザ・ベスト

リージョナルバンクへの進化

10 is...

その上で、11年目に突入した私たちが次に目指すのは、「持続的な成長」です。「地方」を取り巻く環境に、依然厳しい側面があるのは事実ですが、だからこそ、FFGのグループ総合力を最大限に発揮しなければなりません。地域金融機関として、地域経済発展へ貢献しつつ、グループ全体の企業価値を向上させていく好循環を回し、私たちの地元である「九州」とともに成長続けたいと考えています。

そのために、全てのステークホルダーの皆さまから支持を獲得する「最良の金融グループ」ザ・ベストリージョナルバンク「」の実現を目指し、これまでの延長線上だけではなく、新しい取組みへもチャレンジしていくことをお約束します。

これから先のFFGにも、
どうぞご期待ください。

地域とともに 新しい未来へ

これまでの10年間のご愛顧への感謝の気持ちと、これからの新しい未来に向けた決意を込め、年間を通じて設立10周年記念事業を実施していきます。

さまざまなトピ・企業・情報が交わる場の提供によって、これからの時代を動かす突破力のあるアイデアを共創し、ビジネス課題の解決や新しい価値創造を目指します。



みらい共創スペース
「Diagonal Run Tokyo」(ダイアゴナル ラントウキョウ)』
東京・八重洲(福岡ビル4F)に平成29年4月7日オープン



発生から1年となる熊本地震からの復興を祈念するとともに、人々の笑顔や街の賑わいの創出に向けて各種イベントを実施しました。



～熊本地震から1年～
「未来へ向かって 笑顔あふれる熊本へ」

平成29年4月14日～16日
・くまもとHulaFES. →全国ふりかけグランプリ2017
・小中高生パフォーマンスをはじめとするステージイベント
・竹灯籠による夜間ライトアップ ・パネル展

記念事業
Information



今後の予定につきましては、FFGならびにグループ銀行のホームページなどで随時ご案内いたします。

・記念商品サービス、キャンペーンの実施 ・スポーツイベントの開催 など



いっしょにやられる。
くなれる。



特集

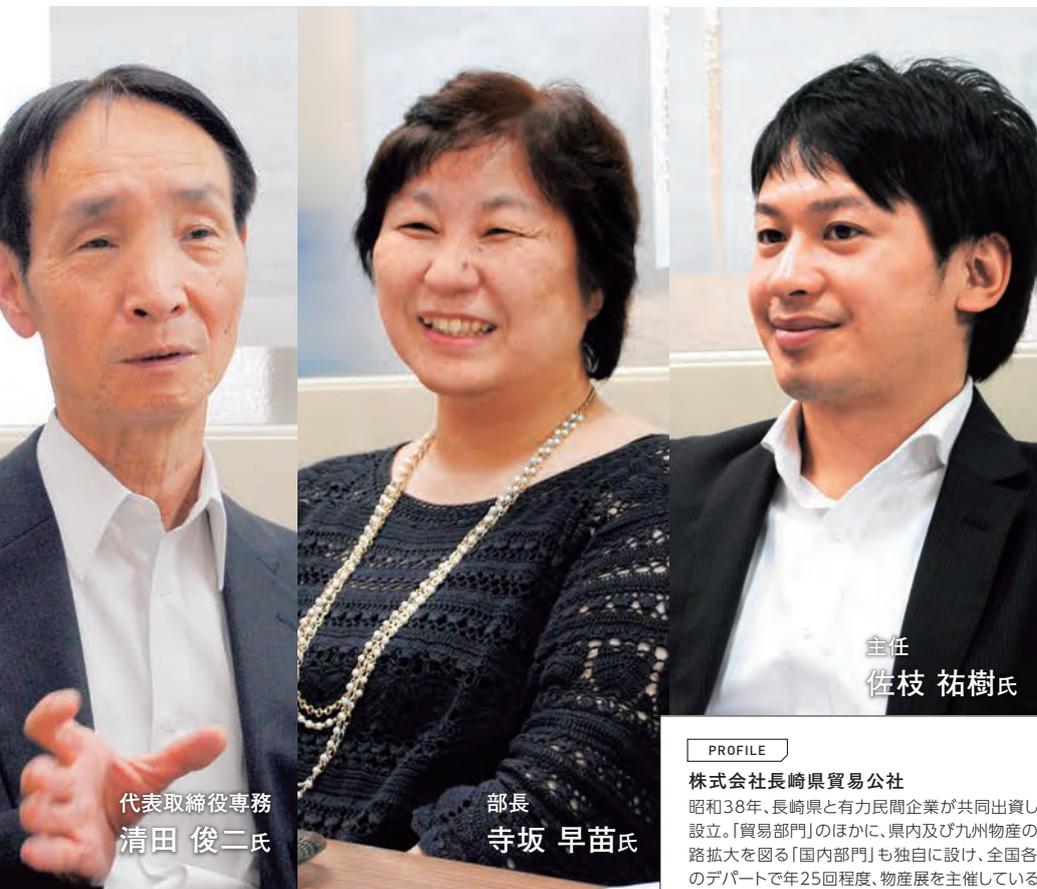
もっと強

流れる時とともに、働く人、暮らす人、会社、地域社会にもさまざまな変化が訪れます。
そのような時、私たちFFGがいっしょになって できること—
その先で とともに実現していきたいこと—
お客さまとのストーリーを通して、お伝えします。

繋ぐお手伝いを

まずは、お客さまの
想いを受け止める。

さらには、日本と現地との連携が肝要。
お客さま、そしてまちごとにも
地域経済の発展を実現するために
しっかりとバックアップしていく。



代表取締役専務
清田 俊二氏

部長
寺坂 早苗氏

主任
佐枝 祐樹氏

PROFILE

株式会社長崎県貿易公社

昭和38年、長崎県と有力民間企業が共同出資して設立。「貿易部門」のほかに、県内及び九州物産の販路拡大を図る「国内部門」も独自に設け、全国各地のデパートで年25回程度、物産展を主催している。



親和銀行
長崎営業部
菅原 輝之

親和銀行
ソリューション営業部
川原 基嗣

長い歴史を持つ地元企業と
歩みを深めるその先に
共通して抱き続けるものは
九州への熱い想い

県内産業の発展を願って海外市場へ

「FFGさんは、とても身近な存在です。気さくに話せて、こまめに情報提供をしていただいています」と笑顔で話すのは、株式会社長崎県貿易公社で、30年以上貿易販路拡大事業に携わってきた、部長の寺坂さん。



長崎県貿易公社（以下、公社）は、「貿易振興をもって、県内産業の発展に寄与すること」を目的に、県と民間企業が共同出資して設立した第3セクター。53年の歴史において、近年特に県産品の斡旋に注力し、2年前に県から事業受託を受けたことにより、積極的に海外に出て行けるようになりました。アジアを中心にビジネスエリアを広げる中、公社において主力の県産品は、香港に長年販路のある「波佐見焼」。食品では主に、「五島うどん」、「島原そうめん」などの魅力を広めようと、現地商談会などで積極的に売り込みを図っています。

そんな公社について、FFGとの関係を親和銀行の菅原行員に尋ねると、「当行とは、これまでも為替関係などですとご取引いただいていたのですが、特にこの5、6年は、海外商談会やビジネスマッチングのご案内をご紹介させていただいています。FFG主催のバンコク、大連での商談会にご参加いただくなど、大変お世話になっております」とのこと。公社にとって初のタイでの商談会の際は、出品にあたって厳しい輸入規制を通過するために必要な申請書の書き方や、FDA（タイ国食品医薬品承認局）の承認取得といった実務を、福岡銀行バンコク駐在員事務所がサポートしました。また、現地金融機関のカシコン銀行タイに出向していた川原行員は、公社からのパンフレットをもとに、現地のバイヤーや飲食店を訪問して事前マッチングを行い、商談会当日から翌日の現地視察まで、常時帯同しました。

「海外商談会や、日本に招聘された現地バイヤーとの面談では、感覚の違いを実際に見聞することができず、味や加工

ともに歩み、「道」を

SOLUTION

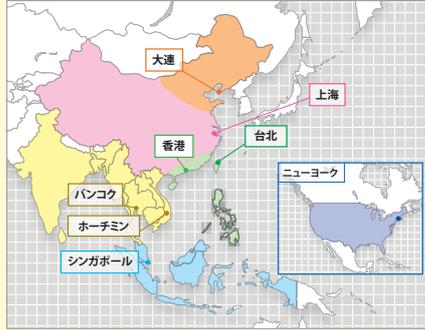
海外進出支援

アジアを中心とする全8駐在員事務所(福岡銀行)や外部提携機関と連携し、お客さまの海外への販路拡大などをサポートしています。

〈海外サポートメニュー〉

- ・市場調査
- ・専門家紹介(法務コンサルタント、会計コンサルタントなど)
- ・海外金融、現地金融機関紹介 ・商談会、交流会の案内

〈FFGの海外ネットワーク〉



民間企業以外にも、地公体や教育機関などと海外を繋ぐ取組みを展開しています。

長崎県立大学×FFG

国際交流に積極的な県の方針を受けて、学生の海外派遣、外国人留学生の受け入れなどを実施している長崎県立大学とFFGが連携し、次世代の育成に取り組んでいます。



大学教授陣による定期的な現地視察も(写真は、2017年5月福岡銀行バンコク駐在員事務所への表敬訪問時)

長崎県立大学
経営学部国際経営学科長
岩重 聡美さん



本学科では、「語学研修」(1年次)をはじめ、東南アジアの現地企業にて約3週間のインターンシップを行う「ビジネス研修」(3年次)を必修科目として



います。福岡銀行シンガポール駐在員事務所では、インターンシップの事前学習として「東南アジアにおける日本経済」と題し、ビジネス講座を開催していただきました。海外勤務に関する体験談を交えながら、東南アジアでの日本の位置付けなどについて有意義な情報をいただきました。現地でのあらゆる経験を通じて、グローバルな視点でさまざまな企業の課題へ主体的に対応できる人材の育成を目指していきます。

FFGは、何でも話せる
心強い存在。
マッチングや企画力が頼もしく、常にタイムリーな情報交換も。「ともに」という積極的な海外支援が私たちの下支えになっている。



2015年に台北(台湾)、2016年にホーチミン(ベトナム)と事務所を新設し、現地の金融機関との連携も進めているFFG。お客さまのご意向や想いを汲み取り、次の一歩の下支えとなるご提案を目指して、「さまざまなことでもご相談ください」と応じる川原行員の言葉には、「お客さまと同じ目線でFFGも成長し、まちとともに地域経済を発展させていきたい」という熱意が込められています。

お互いのノウハウをお客さまのために

「人口減少が進み、地方のメーカーが国外に販路を求めめるのは自然な流れです。海外で日本産商品への関心も高まっている中で、海外に需要があると分かっても貿易実務や言葉の壁などにより一歩を踏み出せない部分は、私たちが持つノウハウなどでお手伝いができれば」と地域活性化への意欲を滲ませるのは専務の清田さん。「開拓といっても、まず情報が不可欠です。FFGさんには、日本企業未開拓の、直接やり取りさせていただけの現地パートナーを紹介いただきたい。その上で、ビジネスにおいては信用を基に関係を築かなければならないので、福岡銀行駐在員事務所を通じて現地調査・企業調査は大変助かっています。ゆくゆくは、県産品に限らず、九州全体の良いものを広く知っていただけるように発信していきたいですね。FFGさんも海外支援にますます力を入れていけるのでしようから、お互い協力しながらやっていきたいと思っています」と今後への期待を語ります。

「人口減少が進み、地方のメーカーが国外に販路を求めめるのは自然な流れです。海外で日本産商品への関心も高まっている中で、海外に需要があると分かっても貿易実務や言葉の壁などにより一歩を踏み出せない部分は、私たちが持つノウハウなどでお手伝いができれば」と地域活性化への意欲を滲ませるのは専務の清田さん。「開拓といっても、まず情報が不可欠です。FFGさんには、日本企業未開拓の、直接やり取りさせていただけの現地パートナーを紹介いただきたい。その上で、ビジネスにおいては信用を基に関係を築かなければならないので、福岡銀行駐在員事務所を通じて現地調査・企業調査は大変助かっています。ゆくゆくは、県産品に限らず、九州全体の良いものを広く知っていただけるように発信していきたいですね。FFGさんも海外支援にますます力を入れていけるのでしようから、お互い協力しながらやっていきたいと思っています」と今後への期待を語ります。

「人口減少が進み、地方のメーカーが国外に販路を求めめるのは自然な流れです。海外で日本産商品への関心も高まっている中で、海外に需要があると分かっても貿易実務や言葉の壁などにより一歩を踏み出せない部分は、私たちが持つノウハウなどでお手伝いができれば」と地域活性化への意欲を滲ませるのは専務の清田さん。「開拓といっても、まず情報が不可欠です。FFGさんには、日本企業未開拓の、直接やり取りさせていただけの現地パートナーを紹介いただきたい。その上で、ビジネスにおいては信用を基に関係を築かなければならないので、福岡銀行駐在員事務所を通じて現地調査・企業調査は大変助かっています。ゆくゆくは、県産品に限らず、九州全体の良いものを広く知っていただけるように発信していきたいですね。FFGさんも海外支援にますます力を入れていけるのでしようから、お互い協力しながらやっていきたいと思っています」と今後への期待を語ります。



お客さまのために

引き継ぐのは、店だけでない。

築き上げてこられたブランド、店を大きく展開していくという福田社長の夢。そう簡単じゃない。けれど、私にもできればと思った。



有限会社ふく泉
代表取締役
(現顧問)
福田 征一氏

株式会社タケノ
代表取締役社長
竹野 孔氏

PROFILE

株式会社タケノ

福岡市博多区博多駅南に本社を置き、居酒屋「竹乃屋」やダイニング「天天」など全30店舗を展開。福岡のほか、佐賀・大分でも繁盛店を生み出す。



一見正反対のタイプだが、ジャンルは違えど信念と歩みで繋がる両社が「事業承継」を通じて始める第二のストーリー

5坪から始まった事業に訪れた転機

熊本市内で世代を超えて愛される、うどん屋「ふく泉」の創業は昭和47年。麺屋を営む親族の影響を受けて5坪の店からスタートしました。奇しくも、福岡県を中心に飲食事業、通信販売、農業生産などを展開する「タケノグループ」の原点も5坪の店。昭和51年、父親が営む食堂が廃業することになり、一家の生活を支えるために焼鳥屋を創業したのが始まりです。

創業当時、ふく泉の福田社長は脱サラ直後、タケノの竹野社長は大学在学中という、経験のない中でスタート。熊本銀行との出会いも同じ時期でした。ふく泉は、創業の地が旧熊本銀行本店の真裏で、銀行員たちの食堂のような存在に。タケノからは、博多区・熊本銀行諸岡支店の当時支店長が店を利用したのを縁に、店舗運営の相談をお受けするようになりました。



福田社長は懐かしそうに当時を振り返ります。「麵生地は熟成や茹で方に試行錯誤を重ねました。どうしても立ち立て麺の美味しさを味わうことが出来ず。そう語る社長は、まるでうどんに恋をしていたように感じられました。

そこから両社とも、食を通じて「主にお客さまを笑顔にする」という信念を胸にサービスを提供し、支持と業績を着実に伸ばしてきました。しかし、会社が歴史を重ねると同時に、経営者自身も歳を重ねていきます。福田社長「ご夫妻は、「後継ぎをどうするか」という悩みを数年前から抱えていました。

「孫への承継も考えましたが、それぞれに進みたい道もある。築き上げてきた『熊本ならではの、ふく泉ならではのうどん文化』を、別の方法で継承できたら」という想いを把握していた、熊本銀行花畑支店長。そんな中、熊本地震でふく泉のシンボルとも呼ぶべき「新市街店」が倒壊し、休業を余儀なくされることに。



全ては、

私は、うどんを愛している。

ただ、もうこれ以上は長くでけん。そんな時に繋がった、このご縁。このチャンス、一つずつ力を注いで成功させていきたい。



PROFILE

有限会社ふく泉

熊本市南区平田を起点に本手打ちうどん店を展開。独自の釜揚げ技術の特徴に、世代を超えて親しまれている。社長は相撲部屋入門の経歴も。

1日も早い復活に向けて、今後の事業展開を本格検討するタイミングも重なりました。一方、時をそう遣えずして、今後の事業展開を模索していた竹野社長にも、これまで足を踏み入れていなかった熊本への出店を検討する機会を得ていたのです。

想いが共鳴し、新たなスタートへ

そこで、銀行が動くことにお客さまの今をいちはばん知る「営業店」と、お客さまのお悩み・課題に対してより専門的な視点と情報・ネットワーク網などで解決策を提示する「本部」とが協働で両社の間に入り、それぞれの会社の状況を説明しました。

「これまでも熊本銀行には、当社に関連する食の話、取引先紹介、事業展開などあらゆる情報や助言をタイムリーにいただけてきました。本件も、日頃のコミュニケーションから、支店長による一歩先を見据えた情報提供がきっかけでした。熊本に目を向けた矢先のタイミングだったんです。私は、食のジャンルに関して何も垣根が無く、麺業態にも一切抵抗がない。我々の居酒屋形態との相性も期待できる。これはすぐに、ふく泉のうどんを食べてみたいと、話を聞いたその日の夜に熊本を訪れました」と竹野社長は振り返ります。

その「行動力」に感銘を受けた福田社長。と同時に、その社長がつくるうどんを口にし、麺に傾ける「情熱」を目のあたりにした竹野社長。二人の想いが共鳴するまでには、そう長い時間を要しませんでした。交渉開始から約半年後の平成29年5月、ふく泉の経営権をタケノに譲渡するという形で、ふく泉の社長に竹野氏が就任。福田氏は顧問となり、新たなスタートを切りました。本年中に新市街店の新業態での復活を目指し、熊本県内への展開も順次検討していくことになっています。

とはいえ、まだ出発点。「これまでも、いつも周りの人が力になってくれた。そしてお客さまが来てくれた。味を落とさずに『できたて・打ちたて、あげたてのうどん』を継承しなければなりません。皆さんの期待に応える『店づくり』を、ここから始めないと」と福田社長。

竹野社長は、「ふく泉のうどんというしっかりとした土台に、当社がこれまで築いていた業態をいかに合体させるかは、まさに研究次第。くまぎん、そして熊本との縁から生まれた今回の転機を、未来に繋げていきます」と意欲を燃やしています。

SOLUTION

オーナーコンサルティング

オーナーが抱えるあらゆるご要望やお悩みに対し、FFGグループ内外のインフラやパートナーによる充実した金融サービスを活用してワンストップでのサービス提供を目指しています。

お客さまの多面的な立場・シーン



事業への情熱とハートを繋ぐ存在へ

私たち銀行員は、お客さま、そして地域経済発展への貢献をあらゆる形で実現していくことが求められます。本件は会社同士に関わるご相談でしたが、その中では、将来に対するビジョンや期待感、長年育んできた会社の変化への寂しさなど、社長や従業員の皆さまお一人おひとりの心にふれる機会が幾度もありました。

そうしたやりとりで身近に接し、ご決断からお手続きまでともに携わらせていただく度、非常にやりがいを感じます。だからこそ、営業店は「お客さまを深く知る」こと、本部は「営業店の良きパートナー兼サポーターである」ことを胸に、日々連携を強化していくことが責務。今後も、一社でも、お一人でも多くの問題を解決していけるよう一丸となって取り組んでまいります。



熊本銀行
ソリューション営業部
木杉 昭弘

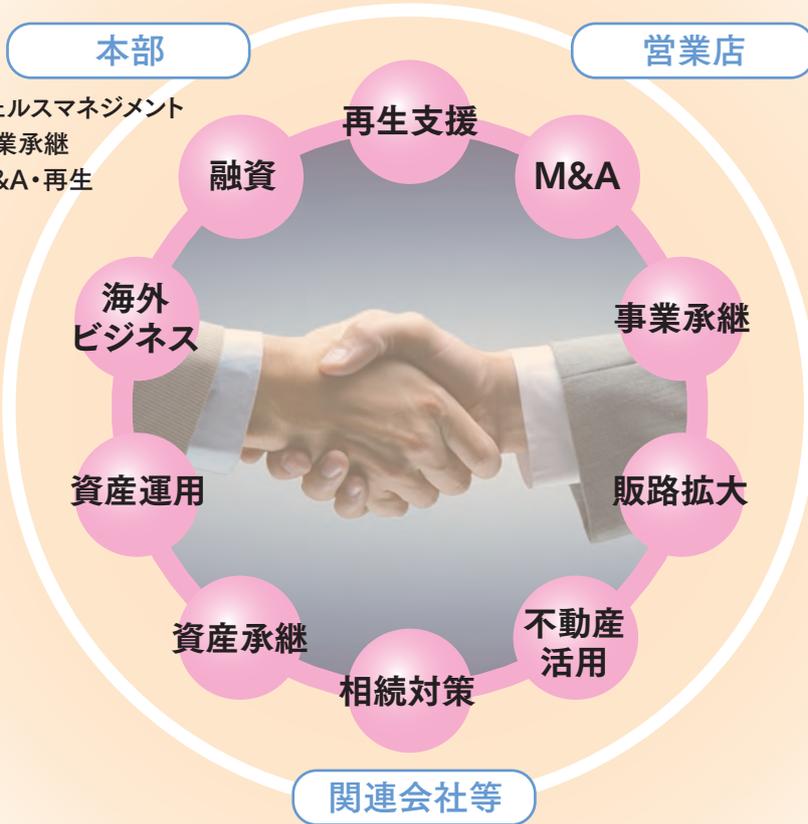
熊本銀行
諸岡支店長
森 文吾



金融仲介機能の発揮による

未来づくり

ふくおかフィナンシャルグループとお取引いただいているお客さまの9割以上は、九州に暮らす方々です。各地における、あらゆるお悩み・課題に対してグループ全体でお応えできる体制を整えています。



- ウェルスマネジメント
- 事業承継
- M&A・再生

- FFGビジネスコンサルティング
- ふくおか証券
- FFGほけんサービス
- ふくおか債権回収
- FFGベンチャービジネスパートナーズ
- 外部ファンド

FFGの特徴①

最適なソリューション提供

企業においては、個人のお客さまの人生と同様に、ライフステージがあります。各ステージに応じた事業内容や成長可能性を金融のプロとして適切に評価する(事業性評価)とともに、お客さまとの対話を通じて把握・共有したニーズの充足や経営課題の解決に向けた対応を強化しています。

また、融資のみならず、事業承継や海外進出にまつわる情報やスキル、さらには資産形成といった個人に係るニーズなども含めて、ワンストップで柔軟にお応えできるよう、幅広いメニューを取り揃えて、最適なソリューションをご提供していきます。

FFGの特徴②

グループ総合力の発揮

FFGは、銀行を中心に証券、カード、コンサルティング機能など、傘下に計17社をグループ会社を持つ、日本で有数の地域金融グループです。最近では、新興企業支援・育成を目指す「FFGベンチャービジネスパートナーズ(平成28年4月)」や、保険に関する幅広いニーズにお応えする「FFGほけんサービス(平成28年8月)」などを設立し、質の高いサービス提供に努めています。

また、お客さまと日々お話しさせていただく営業店でも、担当者の知識・スキルやノウハウの向上を目指し、人材の育成に取り組んでいます。これからも営業店、本部専門部署、グループ会社一体となってお応えしていきます。

こうして、最適なタイミングと手段による

「金融仲介機能の発揮」を積み重ねながらお客さまの期待を超え、中長期的な支援、関係構築へと繋げていくことを目指しています。

その先に見据えるのは、「地域社会の可能性」、すなわち「九州経済全体の発展」です。

金融機関として、金融システムの安定供給はもちろん、地域とともに持続的成長を実現していきます。



いっしょなら、
地域はもっと強くなれる。



ブランドCM



企業ブランドCM 福岡県・熊本県・長崎県にて放映中！
グループ銀行ホームページ「TVCMギャラリー」からもご覧いただけます。



の商品&サービスラインナップ

福岡 福岡銀行での取扱い 熊本 熊本銀行での取扱い 親和 親和銀行での取扱い ※特に記載がないものは3行共通の商品・サービスです。平成29年6月1日現在



**備えて安心
マイホーム**



**しっかり
考えたい教育**



**シニア
ライフ**

財形住宅預金



ローンセンター
火災保険
債務返済支援保険(住宅ローン)

住宅セミナー
建築士サービス
確定申告セミナー **福岡**

住宅ローン
フラット35
リフォームローン
住まいるローン(国信付帯可)
カードローンTHE FIRST

積立式定期預金「ためる〜んKIDS」
教育贈与専用預金



自動送金サービス
外国送金



学資ローンDX(国信付帯可)
教育カードローン
ホームエクイティローン

大口定期預金
年金定期預金「夢いっぱい」
退職金専用定期預金
相続定期預金



退職金ミックスパック
平準払介護終身保険
一時払個人年金保険
一時払終身保険
暦年贈与信託
ずっと安心信託
投資一任運用サービス
「ファンドラップ」



貸金庫
投資信託運用報告会
会員制サービス「グランドマイバンク」
年金受取
年金提携サービス
年金受取予約サービス「夢プラン」
年金セミナー
相続関連サービス
相続セミナー
セカンドライフノート
プラチナカード
サポートデスク(相続・年金・介護)

リバースモーゲージローン **福岡 熊本**
メディカルローン
メモリアルローン
空き家解体ローン
地域活性化空き家ローン

住宅購入資金

住宅の平均購入価格は
世帯年収の約6.2倍

※1
全国平均 **3,231.2万円**

「2015年度フラット35利用者調査報告」
住宅金融支援機構
※1 注文住宅融資利用者のうち、土地取得のための
借入れのない方が購入した平均価格

お子様の教育資金

幼稚園から大学卒業まで※2

全国平均 **1,077.6万円**
+
自宅外通学者の場合

仕送り年間 145.1万円(月額12.1万円)

※2・幼稚園・小中学校は公立の場合
「子供の学習費調査」文部科学省/平成26年度
・高校・大学は国公立・私立を合わせた全体の平均
「教育費負担の実態調査結果」日本政策金融公庫
/平成28年度

退職金

60歳で定年退職した場合

※3
平均 **2,374.2万円**

「2016年9月度 退職金・年金に関する実態調査結果」
(社)日本経済団体連合会
※3 管理・事務・技術労働者・総合職・大卒を標準
とした場合



ライフステージに合わせた、
幅広いニーズにお応えできる商品・サービスを
お客さまの立場に立ってご提供します。

FFG



就職、社会人生活 そして銀行デビュー



将来に向けた資産形成 そして結婚・出産

ご預金

総合口座
インターネット専用口座「ネットワン」
積立式定期預金「ためる〜ん」
一般財形預金

スーパー定期預金(スーパー定期300)
バースデー定期
財形年金預金

資産運用・資産形成

NISA(少額投資非課税制度)
積立投資信託
積立式外貨普通預金「ためる〜んWorld」福岡
平準払個人年金保険



学資保険
ジュニアNISA
平準払個人年金保険
平準払終身保険
医療保険・がん保険
定期保険
収入保障保険
平準払外貨建養老保険
平準払外貨建終身保険
傷害保険

投資信託
公共債
スーパー外貨定期預金
ミックスパック
個人型確定拠出年金 福岡
ネット保険の窓口販売
外国債券等
(金融商品仲介業務)
証券会社紹介サービス 福岡

その他サービス

アレコレカード 給与振込
アレコレSUGOCA ポイントくらぶ「マイバンク」
アレコレnimoca 福岡 熊本 メルマガくらぶ 福岡
ETCカード
ダイレクトバンキングサービス
(インターネットバンキング・モバイルバンキング・テレホンバンキング)
外貨両替
外貨両替予約販売サービス(インターネット)
海外旅行保険(インターネット) 福岡 親和
自動車保険(インターネット) 福岡
Debit+, Debit+ nimoca 福岡
Wallet+ (iBankマーケティングのサービス)

マネーセミナー
公共料金自動振替
ライフプランシミュレーション



ご融資

ニューオートローンDX(国信付帯可)、残価設定型オートローン
ロードバイクローン、カメラローン、楽器ローン
フリーローン「ナイスカパー」(国信付帯可)、アレコレカードローン
福岡銀行カードローン
熊本銀行カードローン
親和銀行カードローン

ブライダルローン



お問い合わせ先

商品・サービスに関するお問い合わせは、FFG各銀行の窓口、ホームページ、または下記ダイヤルまで。

定期預金・ためる〜ん・その他照会について テレホンサービスセンター
福岡銀行 ☎ 0120-788-321 熊本銀行 ☎ 0120-189-066 親和銀行 ☎ 0120-122-312

ローン・資産運用などについて ダイレクトコンサルティングプラザ
福岡銀行 ☎ 0120-788-324 熊本銀行 ☎ 0120-333-086 親和銀行 ☎ 0120-34-3456

自動音声 【1】ローンのお申込み 【3】住宅ローンのお申込み・ご相談
案内メニュー 【2】ローンのご相談・お問い合わせ 【4】資産運用のご相談

アレコレカードについて
福岡銀行 ☎ 0120-788-324 【1】お申込み 【2】ご相談・お問い合わせ
熊本銀行 ☎ 0120-189-066 ご相談・お問い合わせ
親和銀行 ☎ 0120-34-3456 【2】ご相談・お問い合わせ

結婚式の費用

挙式・披露宴・
披露パーティー

(九州平均) **372.0万円**

「ゼクシィ 結婚トレンド調査2016」調べ

※受付時間：平日 9:00~20:00(但し、銀行休業日は除きます)

FFG TOPICS

iBank関連

●Wallet+（ウォレットプラス）

福岡銀行でサービスを開始した、スマートフォン専用お金管理アプリ「Wallet+（ウォレットプラス）」が、平成28年7月の導入から約10カ月で15万ダウンロードを突破しました。

「Wallet+」では、残高照会・収支管理・貯蓄などの金融機能に加え、お得なクーポンや生活に役立つ情報コンテンツを配信しています。また、平成29年7月には、ローン（お借入）や運用（投資信託）のご購入の機能拡充によるサービス向上を予定しています。

平成29年10月には熊本銀行・親和銀行への展開も予定しており、九州をカバーする地域間連携を通じ、より新しい金融サービスやマーケティングの機会をご提供していきます。



地方創生

当社グループでは、各自治体と連携して地域活性化に向けた取組みを展開しています。平成28年度下半期は、新たに地元8自治体と地方創生に関する連携協定を締結したほか、空き家対策となるローン商品の取扱いも拡大しています。

特に熊本県南関町においては、連携協定に伴う取組みの二環として、「バンブーマテリアル株式会社」による「地域の未使用資源となっている竹を活用したビジネス」への出資を実施しました。荒廃竹林の整備や雇用創出に寄与する本プロジェクトの支援に、FFGのグループ力を活かして取り組んでいきます。

投資信託「Yjiaシリーズ」を全国に先駆けて取扱い開始

FFG3行では、平成28年11月に、「運用に特化した人工知能（AI）」と「Yahoo! Japan」が保有するビッグデータを活用した投資信託「Yjiaプラス」、平成29年1月に、投資初心者向けのバランス型投資信託「Yjiaライト」の取扱いを全国の金融機関に先駆けて開始しました。

今後、より多くのお客さまに投資の機会をタイムリーにご提供していきます。

海外ビジネス支援

お客さまの海外への商圏・販路拡大などのニーズに応えるため、FFGでは海外ビジネス支援を目的とした商談会を開催しています。台湾では、超高齢化社会を見据えた「健康・医療・介護」への関心の高まりを受けて、「FFGヘルスケア商談会 in 台北」を主催。現地パートナーとのビジネスマッチングをサポートしました。また、大連では現地に拠点をもつ取引先を主に対象とした「大連―地方銀行合同ビジネス商談会」を共同で開催しました。



会社説明会の開催

当社グループの経営方針や財務・業績状況などについてご理解を深めていただくため、個人投資家向け会社説明会を開催しました。平成28年度下半期は、新たに、より身近な会場として支店でも実施し、福岡・熊本両県で全10回・約600名超のご参加をいただきました。今後も、皆さまとの対話の機会を創出していきます。



ブランドCM

FFGの企業ブランド新CM「いっしょなら強くなる」篇を放映中です。FFG社員に扮した瀬戸康史さんと地域の皆さまが手を組み颯爽と走り抜けていく姿には、設立10周年を迎えたFFGの「地域とともに力強く進み未来を創っていく」という決意を込めています。



人財・採用情報の公開

昨年リニューアルした当社ホームページ内にて、「人財・採用情報の公開を平成29年3月よりスタートしました。『新卒採用情報の充実』と『人財方針・実施施策の発信』を目指し、業務や社員育成についての紹介や、ダイバーシティへの取り組みも掲載しています。



平成29年の店舗・ATM情報

平成29年1月以降、当社グループでは1店舗のリニューアルを行いました。今後も地域の皆さまに「あなたのいちばんに。」を感じていただけるよう、店舗・ATMのサービス向上を進め、快適で心地よい空間をご提供していきます。

ふくおか証券



2/13 大橋支店

福岡銀行



開放的な吹き抜け構造と充実したバリアフリー設備により、快適で心地よく過ごしていただける空間にリニューアル。3階には、「ふくおか証券大橋支店」が新規オープンしました。銀行・証券の共同店舗として、より質の高い金融サービスを目指します。

～お知らせ～

以下の2出張所を、支店に変更いたしました。
(住所などは変更ございません)

4/3

国際線ターミナル出張所
→国際線ターミナル支店

5/15

朝倉街道出張所
→朝倉街道支店

FFGのコーポレートコミュニケーション(IR)年間カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表		●本決算			●第1四半期決算			●中間決算				●第3四半期決算
株主総会			●									
会社説明会		●						●				
有価証券(四半期)報告書			●		●			●				●
ディスクロージャー誌			●あなたのいちばんに。編 本誌		●財務データ・資料編				●あなたのいちばんに。編		●財務データ・資料編	
Annual Report						●						

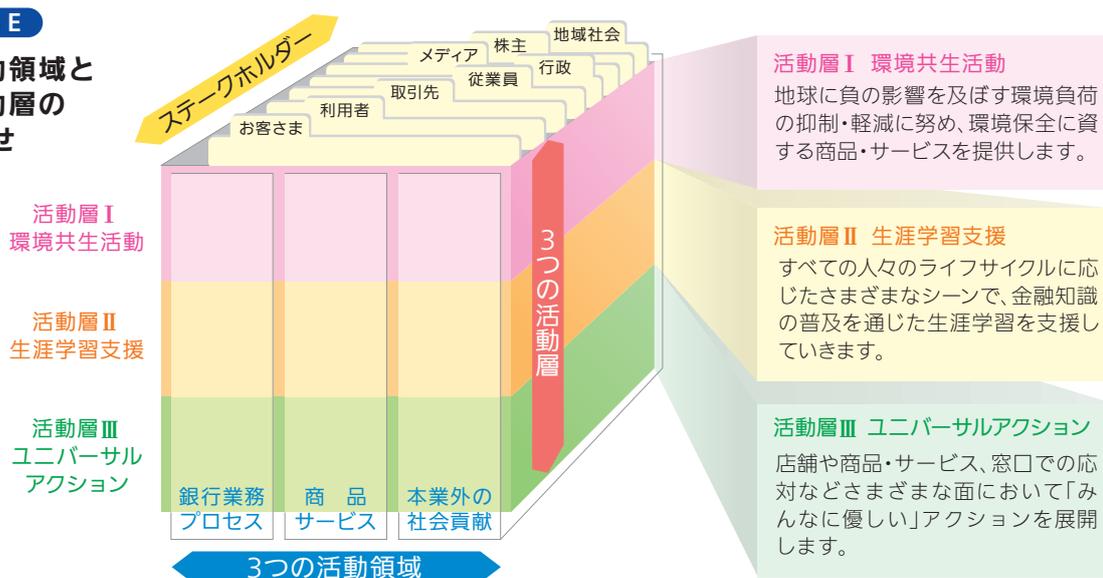
当社グループでは、
経営理念の実践とも言うべき事業活動そのものが、
「CSR」と考えています。

CSRレポート 2016-2017

Corporate Social Responsibility Report 2016-2017

CSR CUBE

3つの活動領域と
3つの活動層の
組み合わせ



活動層Ⅰ 環境共生活動

地球に負の影響を及ぼす環境負荷の抑制・軽減に努め、環境保全に資する商品・サービスを提供します。

活動層Ⅱ 生涯学習支援

すべての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援していきます。

活動層Ⅲ ユニバーサルアクション

店舗や商品・サービス、窓口での対応などさまざまな面において「みんなに優しい」アクションを展開します。

銀行業務プロセス によるCSR

コーポレートガバナンス、法令等遵守、各種リスク管理、情報開示といった企業経営の根幹となる態勢構築・整備をはじめ、従業員の雇用や自らの環境負荷軽減活動などといった、銀行業務の全プロセスにかかる取り組み。

銀行の商品・サービス によるCSR

銀行の持つ金融機能を活用して、社会的に意義ある商品・サービスを開発・提供する取り組みおよび金融ビジネス。

本業外の社会貢献 によるCSR

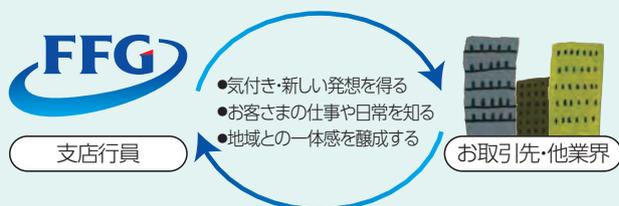
本業とは直接的な関係は薄いですが、経営資源を活用して、社会的課題に関与する取り組み（ボランティア、文化芸術活動など含む）。

「気付きを求めて地域へ」

FFGでは、より質の高い店づくりに活かすことを目的に、他業界から学ぶ取組みを展開しています。

他業界から学ぶ「おもてなし」

行員が自ら地域に飛び込み、店周企業やお取引先で既成概念にとらわれない新しい発想を得ることにより、接客やおもてなしの心を磨く営業店独自の取組みをスタートしました。「他業界の現状や直面している課題」などを目で見て肌で感じ、お客さまの仕事への熱意や姿勢にふれることで、地域金融機関の一員としての意識を高めていくことも目指しています。また、地域との一体感やお客さまとのコミュニケーション深化にも繋がっています。



スキル 「ATMセンターでの電話対応」

コミュニケーションや 接客スキルの向上を目指して

- ◇ 問い合わせやクレームなど 実際の対応を見学
- ◇ センター長やチーフによる電話 対応のポイント、敬語・クッション 言葉についての講義を受講



福岡銀行 香椎支店

支店の声



福岡銀行 香椎支店
園田 美香

顔が見えないからこそ、相手の状況や感情を推し量ることや、的確さ・迅速さが求められる中、電話だけで問い合わせやクレームに対応するオペレーターの方々のスキルに感銘を受けました。今回学んだ「ちょっとした言葉の使い方」や「感情を込めて声を出す」ことを業務で実践し、お客さまから良い反応がいただけることも増えています。朝礼での「言葉遣いロールプレイング」を継続し、窓口対応にも応用していきたいです。



おもてなし 「ホテル業界の接客・サービス」

他業界の「おもてなしの心」を知る

- ◇ 支店長・行員・スタッフが訪問
- ◇ 社長による「独自の取組み」についての講義を受講



親和銀行 江迎支店

支店の声



親和銀行 江迎支店
藤田 瑠美子

他にはない「おもてなし」を考え抜き行動されている熱い姿勢に、大変刺激を受けました。清掃ひとつをとっても、個々が真摯に取り組むことで、お客さまの「また来たい」に繋がることや、お客さまの目線で自分たちを見つめて当店独自のおもてなしを考え実践する必要性など、さまざまな気づきや意見が生まれました。他業界の方が抱く想いを知る貴重な機会にもなりました。



体験 「老人介護施設への体験入社」

より安心してご利用いただける 店舗を目指して

- ◇ 朝礼への参加
- ◇ 個々の事業別対応や申し送りを見学
- ◇ 車椅子の取扱い・介添えによる 移動を実施



熊本銀行 松橋支店

支店の声



熊本銀行 松橋支店
齊田 剛浩

介護のプロから接客を学ぼうと訪問。視線の高さを合わせることや、細かいお声かけ、相手の意思やできることを尊重した上で、「何かできないか?」という無理強いをしない姿勢など、相手を選ばないコミュニケーションの心構えを学びました。施設の方々の、「自分の家族であつたら」と考えて接する姿が印象的で、そういった身近な優しさや心配りは銀行でも実践できるものだと思われ、気付かされました。



地域への理解や想いを深める場を創出し、地域金融機関として身近な存在でありつつ先進的な視点を養うことで、FFGは地域とともに進化していきます。

FFGのホームグラウンドである九州の豊かな自然は、私たちの宝。その想いを大切に、環境負荷の抑制・軽減に努め、環境に配慮した商品・サービスを提供します。

FFGの環境方針 4つの柱

- ① **EMSの継続的実施**
地域の環境保全のために、目標を設定し、具体的な活動を通して達成を目指します。
- ② **本業を通じた環境面への取り組み**
本業を通じて環境活動の側面からも地域貢献に努めます。
- ③ **環境配慮活動の実施**
省エネ・省資源活動への取り組みおよび環境保全に配慮した社会貢献活動の実践により、環境への負荷軽減に努めます。
- ④ **全従業員への周知と徹底**
本方針を当グループ全従業員が認識し、一人ひとりが環境問題について考え、自主的に行動し、改善活動を実践していきます。

FFGの環境への取り組み

Fun to Share への参加
日本の森を守る地方銀行有志の会への参加
二酸化炭素排出削減事業への参加

環境に配慮した商品・サービス

環境格付融資 FFG「エコ・ローン」
再生可能エネルギー関連商品
排出権取引

環境負荷の抑制・軽減に向けた活動

植林ボランティア
FFG独自の節電プログラム
エコオフィス化の推進
(屋上緑化、太陽光発電、LED照明など)
営業拠点一帯の清掃活動
営業車両へのエコカー導入
ライトダウンイベントの実施
クールビズ・ウォームビズ
エコ・キャップ運動
ゴミの分別徹底
エコってカエル
(エコアクションとメリハリのある勤務体制の実現)

継続的なエネルギー削減への取り組み

平成23年夏から、FFG独自の節電プログラムを展開しています。各店舗単位でのエネルギー消費量の管理などの「エコ・アクション」を進め、平成28年度下半期は平成22年同期比で14.7%の削減に繋がりました。
また、太陽光発電や営業店のATMコーナーへのLED照明の採用など、エコオフィス化も推進しています。

環境格付融資 FFG「エコ・ローン」

環境に配慮した経営を行う企業の取り組みをFFG独自の「環境格付」で評価し、得点に応じて金利優遇を行う融資商品です。オリジナリティと地元密着を目指し、企業の環境保全の努力を評価項目に取り入れています。

環境美化・リサイクル

エリア・支店の取り組み

福岡銀行久留米営業部
福岡銀行東久留米支店
久留米市の指導のもと、「くくるめ花街道サポーター」として店周の花壇に花植えを行っています。水やりと清掃を日課とすることで、お客さまからもお声かけやアドバイスをいただくなど、会話が広がっています。

熊本銀行 託麻支店

熊本地震の影響から建物の解体が進み、ゴミや雑草が増加している当店エリアで、託麻商工会主催の清掃ボランティアに参加しました。現在は仮店舗勤務の行員に近隣のお客さまからあたたかい声も寄せられ、地域への想いを新たにしています。

親和銀行本原支店

店周の「末広公園」の清掃活動を行っています。過疎化による人手不足が進む中、地元自治会からの依頼を受けて月1回実施している活動です。地域の方々からの感謝の言葉を店内で共有し、地域貢献へのやりがいに繋がっています。

エコオフィス化
「太陽光発電」



花壇づくり



店周清掃活動



地域清掃活動



生涯学習支援 Lifelong Learning Support

FFGはすべての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援しています。

FFGの生涯学習支援

金融を通じた生涯学習支援

学生向け「金融・経済学習」
お客さま向け各種セミナー
地域の皆さま向け
「振り込み詐欺から身を守るセミナー」
大学での寄附講座

次世代を担う子どもたちへ

児童養護施設への活動
「銀行の職場探検」プログラムの展開
「ジョブシャドウ」実施
「FFGインターンシップ」実施
「家族参観日」実施(従業員対象)

文化芸術・スポーツ活動

文化・芸術・スポーツイベントへのご招待
ニューイヤーコンサート
ビルの谷間のコンサート
地域貢献イベントの開催



職場見学セミナー



野球教室



女声合唱



テニス教室

金融教育支援

金融知識の普及をサポート

金融知識の普及をサポートするため、お客さまを対象にさまざまな金融教育支援活動を展開しています。

平成28年度下半期は、長崎国際大学で12回目となる「大学生向けマネーセミナー」や、松浦高校で「職場見学セミナー」を行い、貯蓄・資産管理の大切さや銀行業務を知っていただきました。(親和銀行)

また、投資初心者向けの「投資応援セミナー」を、新たに開催しました。(福岡銀行)

次世代を担う子どもたちへ

インターンシップ

大学生・大学院生向け「FFGインターンシップ」を、12月と2月に東京・大阪・福岡で開催しました。

学生たちに就業体験の機会を提供するのはもちろん、銀行業務についてのレクチャー・課題解決・コミュニケーションを通じて、「銀行の仕事・働くこととの意義」を伝えるためのさまざまなプログラムを展開しました。参加した約270名の学生からは「働くことの楽しさ・責任の重さを感じる事ができた」、「他大学の学生と話し、良い刺激になった」といった声が寄せられました。

文化芸術・スポーツ活動

ニューイヤーコンサート

グループ3行において、ニューイヤーコンサートを開催しました。約7,500名のお客さまをご招待し、九州交響楽団の演奏と美しいソプラノの歌声で、華麗なウィンナ・ワルツを堪能いただきました。

少年野球教室

「第4回ふくぎん少年野球教室」を開催しました。福岡県内から11チーム・総勢120名以上の子どもたちが集まり、福岡銀行野球部員やプロ野球選手が打撃・守備などの指導を行いました。「体の使い方」が分かった、「プロに直接指導してもらい嬉しかった」という感想とともに、保護者の方々からもご好評をいただき、地域のスポーツ振興に資する取組みとなりました。

女声合唱フェスティバル

昭和63年より、熊本銀行が29年間協賛している「女声合唱フェスティバル」が開催されました。今回は、「熊本地震復興への願いを込めて地域の皆さまに元気を届ける」というテーマのもと、美しい歌声がコンサートホールいっぱいに響き渡りました。

テニス教室

毎年恒例となっている親和銀行運動部によるテニス教室を、長崎・熊本の計4カ所で開催しました。小学生から大人まで幅広い年齢層の参加者が、国体レベルの選手による指導を受けて熱心にプレーに打ち込み、大変盛り上がりました。

FFGは、高齢者、女性、子ども、障がいのある方はもちろんのこと、地域社会、地球環境を含めた「みんなに優しい」の実現を目指したアクションを展開しています。

FFGのユニバーサルアクション

銀行にご来店のお客さまへ

「みんなに優しい」店舗づくり
店舗のバリアフリー化
お客様責任者・サービス介助士の全店舗配置
普通救命講習受講者・認知症サポーターの配置
下記ユニバーサルツールの全店舗配置
(老眼鏡・AED・車椅子・視覚障がい者対応ATM
コミュニケーションボード(聴覚障がいがある方・外国人)
耳マーク案内板(筆談でのご案内)・助聴器・貸傘)

地域貢献活動

災害復旧支援活動
地域行事への参加
「小さな親切」運動(熊本銀行)
ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団活動
地域・産業振興助成金事業
(ふるさと振興基金・キューテック)
みんなの110番

社内の取り組み

障がいのあるお客さまなどへの利便性向上
(手話トレーニング、代筆・代読トレーニング、体験型研修)
ユニバーサルマナー検定3級の資格取得
TABLE FOR TWO

ユニバーサルツール

多目的トイレの設置



座ったままご利用
いただける記帳台



コミュニケーションボード



地域貢献活動

車椅子寄贈



銀行にご来店のお客さまへ

「みんなに優しい」銀行を目指して
障がいのある方やご高齢の方などに
特定せず、誰もがもっと利用しやす
い「みんなに優しい銀行」を目指して
います。

ハード面では、各種ユニバーサル
ツールの全店配置に加え、平成28年
4月からはATM全台に多言語機能
を導入するなど、外国人の方の利便性
向上も図っています。

加えて、朝礼での手話トレーニング
の実施や全店に配置しているお客様
責任者(サービス介助士)2級資格保
有を中心とした技術の習得など、お
客さま応対や地域貢献活動を通じて
「あなたのいちばんに。」の実現に取り
組んでいます。

地域貢献活動

ふるさと振興基金

地域の産業・文化支援を目的に、
福岡・熊本・長崎の3県で、さまざま
な地域貢献、文化振興、産品開発、学
術研究、学校教育に関する活動を
行っている個人・団体に対して、活
動資金の助成を行っています。平成
28年度下半期は、総額646万9千
円を計24先へ助成しました。

「小さな親切」運動

熊本銀行では、ご高齢の方や体の不
自由な方々の社会参加を目指して、医
療機関や介護施設、学校などに車椅子
を寄贈しています。平成28年度は31台、
平成12年スタート以来の寄贈台数は
203台となりました。

FFG企業育成財団

「ふくおかフィナンシャルグループ
企業育成財団(キューテック)」は、地
域の技術指向型中小企業を対象に、研
究開発および人材育成に対する助成
を行っています。また、企業戦略にお
ける人材育成や、コミュニケーション
についての講演会なども開催してい
ます。

社内の取り組み

TABLE FOR TWO

平成21年6月から、従業員の健康
維持と社会貢献へ同時に取り組む
「TABLE FOR TWO」に参加
しています。社員食堂でヘルシーメ
ニューを注文すると、1食につき20
円が発展途上国の学校給食費とし
て寄付されます。3月末までの寄付
金は、2,080,590円(全4拠点)
となります。

住まいるな話
VOL.12



いますぐできる、「魅せる」暮らし

大きな家具を買い直さなくても、ちょっとした工夫で部屋の印象は簡単に変わることができます。居心地が良く、目で見ても楽しめる住まいづくりに向けて、身近にあるもので始められるコーディネートをご紹介します。

Part1 “抜け感”で叶える心地よい空間

【植物】

どんなシーンにもグリーンをON！
彩りとフレッシュさで活躍します。

【鏡】

鏡には、窓やアート作品のような役割が！
空間に広がりや明るさが出ます。照明が映り込む位置ならさらに効果的。

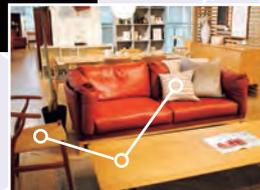
小ぶりの鉢3種をぎゅっとかためると今っぽく！



今、「抜け感」のある部屋がひとつのトレンドです。洗練されているながら力みがなく、心地よい空間を演出してみましょう。

異色・異素材コーディネートのポイント

- ①まず主役となる家具を定める
- ②周囲に添える脇役たちの「色」または「素材」に統一感を持たせてまとめる



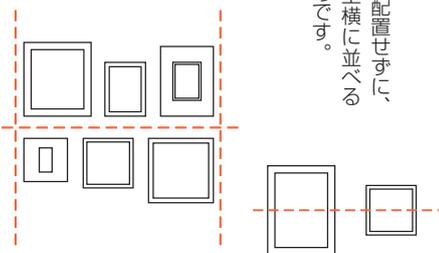
他にも、モダンな空間に、一点だけ古く味わい深い趣の家具を投入してあたたかみをプラスしたり、デザインの異なる椅子を並べてみたり。一見ミスマッチな組み合わせも、「色」や「素材」でまとまりを出せば、見慣れた部屋をワンランクアップさせてくれます。

例えば、重厚感がある革のソファをメインに、あえてベージュなどナチュラルな色味の布製クッション・ラグなどを選んで周囲に混在させると、よりリラックスした雰囲気。

Part2 こんなところに！配置の工夫

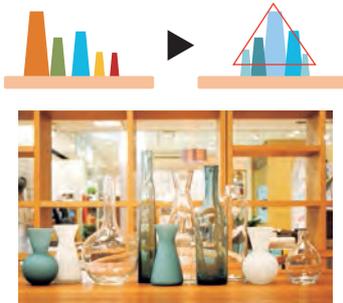


2つなら、ソファの幅や中央のラインに合わせて左右対称（シンメトリー）に飾るとフォーマルな印象に。



● **ライン・数を意識**
絵や写真を飾る際は、なんとなく配置せず、ラインの基準を定めて3つ以上横に並べる場合は、偶数より奇数がおすすです。

● **頂点を三角に**
お気に入りの雑貨を飾りたい！そんな場合は、一番背の高いものを中央に置き、頂点が三角形になるようイメージして配置するのが、ディスプレイのコツです。



それぞれのまとまりで高さを揃えて。英字新聞や、好みのデザインの紙をブックカバーにしてみるというワザも。



● **“しまう”と“見せる”のバランス**
棚は収納家具ですが、“しまうもの”で100%にせず、飾るもの“見せたいもの”を取り入れてみましょう。さらに、余白の空間を作ることで生活感を抑えることができます。

取材協力：アクタス 福岡店



お気軽にご相談ください！

福岡銀行本店中2階「住まいるギャラリー」では、建築士やインテリアコーディネーターの資格を持つ専門のスタッフが、住宅に関するアドバイスを行っています。ご相談は無料です。

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店 中2階 TEL 092-723-2290
営業時間／平日：9:00～17:00 土曜：10:00～17:00（日曜・祝日および12月31日～1月3日は休業）

ふれあい動物王国 「阿蘇カドリー・ ドミニオン」



阿蘇の大自然を活かした広大な敷地の中で、約100種550頭羽以上の珍しく愛らしい動物たちを中心に「エンターテインメント」と「ふれあい」をテーマにした世界でも珍しい動物ワールド。みやざわ劇場やカドリーホールなどの動物ショーや、いろんな動物とのふれあい、そしてアトラクション、お食事やショッピングなどが楽しめる、さまざまな施設が充実しています。

- 所在地／阿蘇市黒川2163 ☎0967-34-2020
- 開園時間／3月中旬～10月中旬：9時30分～17時（土日祝日は17時30分まで）
10月中旬～3月中旬：10時～16時30分
- 休園日／12月～2月の火・水曜日（祝祭日・冬休み期間は除く）
- 入園料／高校生以上 2,400円 小・中学生 1,300円 3歳以上 700円



来て！
見て！

マイタウン My Town ～熊本編～

このコーナーでは、FFGの主要拠点である福岡・熊本・長崎の3県をご紹介します。今回は、震災から立ち上がり、訪れる人を歓迎してくれる代表的スポットにフォーカスしました。

一歩ずつ、「創造的復興」を目指して



雄々しい中岳を望む景勝地「草千里ヶ浜」

浅い四角形の大草原「草千里ヶ浜」は、噴煙を上げる中岳を望む絶好のロケーション。烏帽子岳の北麓に位置し、中央の大きな池や放牧された馬など、牧歌的な風景が広がっています。緑鮮やかな夏は、乗馬や散歩もなお一層楽しみに。広大な景観は、阿蘇の代表的な風景の一つとして、多くの歌人に歌われています。現在は山上広場まで車で登ることができ、売店や隣接する火山博物館も営業しています。

- 所在地／阿蘇市草千里ヶ浜
- お問い合わせ先／阿蘇インフォメーションセンター ☎0967-34-1600

そうした中、熊本の名物、観光列車に熊本～人吉間を走る「特急かわせみやませみ」が仲間入り。7月からは、JR九州と熊本県・大分県による、お得で楽しいキャンペーンもスタートしています。

雄大な自然と歴史や文化にふれ、訪れた先々では豊富な農産品や食も楽しめる熊本は、九州が誇る観光地。夏の思い出づくりに、ぜひお出かけください。

熊本地震から2度目の夏が訪れました。また各所に深い爪痕は残るものの、明るい話題も増えています。その一つが道路の復旧。阿蘇駅方面と中岳・草千里を結ぶ「阿蘇吉田線」、阿蘇くまもと空港側から南阿蘇に通じる「俵山トンネルルート」（県道熊本高森線）が相次いで開通し、夏の終わりまでには阿蘇大橋の迂回路として「長陽大橋ルート」も開通します。

熊本県観光物産課の西川 明之さんにお話を伺うと、「道路の復旧は観光にとって大きな要素。57号線は寸断され、JR豊肥本線も復旧していませんが、迂回路が増えたことにより、熊本方面へのアクセスが改善しています。一人でも多くの方に熊本で楽しい旅行をしていただくことが、私たち熊本県民の支えとなります。感謝の気持ちをおもてなしの心に込めて、皆さまのお越しをお待ちしています」とのこと。熊本県では「創造的復興」をスローガンに掲げ、単に元に戻すのではなく、被災前よりも魅力を増した故郷の再生を目指しています。

文人墨客も愛した癒しの湯「内牧温泉」

阿蘇随一の代表的な温泉街・内牧温泉は、文人墨客が宿泊した地としても有名。お湯は無色透明でリチウムを含み、ストレスを解消してくれる癒しの湯です。震災で配管に支障が出た時期もありましたが、100を超える源泉は健在で、今は名湯を楽しめるようになりました。阿蘇市観光協会では、内牧温泉をベースに、地割れした田畑や復旧事業が進む阿蘇神社など、今しか見ることのできない阿蘇を巡り、防災意識の向上に役立ててほしいと願っています。

- 所在地／阿蘇市内牧
- お問い合わせ先／阿蘇インフォメーションセンター ☎0967-34-1600



18店の魅力が1カ所に 「益城復興市場・屋台村」

店舗を被災した方が営業を再開できるよう、益城町商工会と(一社)まちづくり益城の主催で、昨年6月25日にオープン。点在していた18店舗(食事、ファッション、雑貨・小物)が結集し、「益城から元気に! 益城に笑顔を!」と再生を目指しています。敷地内には80席のイートインスペースがあり、地元の方々とのふれあひも。「来ていただき、それぞれの立場で今の益城を伝えてほしい」と願いつつ、まちに賑わいを取り戻す推進力となっています。

- 所在地／上益城郡益城町惣領1415
- 営業時間／10時～23時(酒類の提供は15時～)
- 定休日／定めなし(各店舗に定休日あり)



だご汁定食などが味わえる食事処も。

感謝のおもてなし 「俵山交流館 萌の里」

南阿蘇・西原村の特産品が揃う物産館。3月15日に全館営業を再開し、西原甘藷・里芋をはじめ採れたての新鮮な野菜が販売されています。また、手づくりの漬物や惣菜、万手なども大人気。まだ万全の品揃えではないものの、「震災を忘れず、5年、10年と長い目で見ていただきたい」というスタッフの想いに応えるように、県内外からたくさんの方が訪れています。9月下旬からは隣接するコスモス園で見頃を迎える約100万本の花々もお出迎え!

- 所在地／阿蘇郡西原村小森2115-3 ☎096-292-2211
- 営業時間／9時30分～18時(季節により変動あり) ●休館日／不定休



ふくおかフィナンシャルグループ 経営戦略

第5次中期経営計画 ～「ザ・ベスト リージョナルバンク」を目指して～（3カ年計画：平成28年4月～平成31年3月）

● 目指す姿

第5次中期経営計画では、基本方針に『「地域経済発展への貢献」と『FFG企業価値の向上』との好循環サイクルの実現』を掲げ、基本戦略には、ビジネスモデル、人財力、グループ総合力、ブランドの4つの“進化”を設定しています。

ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を全ての戦略・施策の機軸に据えて各種戦略・取組みを展開することで、長期ビジョン「持続的に高い競争力・成長力を実現する『ザ・ベストリージョナルバンク』」の実現を目指していきます。

● 基本戦略（4本柱）



● 目標指標

（のれんの一時償却実施の影響反映後）

収益性指標	最終年度目標（平成30年度）	
	変更前	変更後
当期純利益（連結）	450億円	540億円
株主資本利益率（ROE）	5%以上	7%以上

利益還元

● 配当金目安テーブル

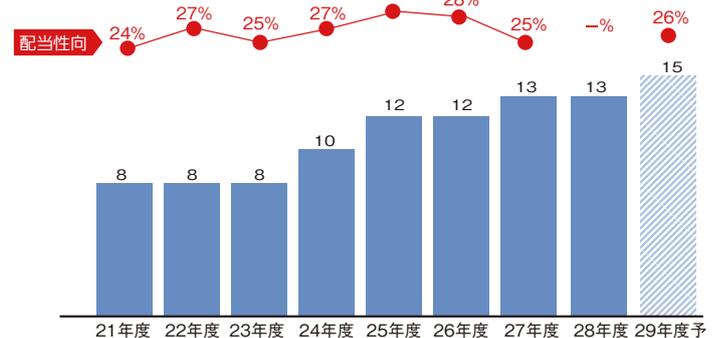
当期純利益（連結）※	配当金目安	配当性向
500億円以上～	年間17円～	～29%
450億円以上～500億円	年間15円～	26～29%
400億円以上～450億円	年間13円～	25～28%
350億円以上～400億円	年間12円～	26～30%
300億円以上～350億円	年間11円～	27～32%
250億円以上～300億円	年間10円～	29～34%
200億円以上～250億円	年間9円～	31～39%
150億円以上～200億円	年間8円～	34～46%
～150億円	年間7円～	40%～

※ 親会社株主に帰属する当期純利益を指します。

当社は、企業価値を高めることで株主価値の向上を図ることを基本に、株主の皆さまに対する利益還元につきましては、連結当期純利益の水準に応じて配当金をお支払いする方針としています。また、第5次中期経営計画では、配当性向30%程度とする配当テーブルを設定しています。

● 配当金の推移

（普通株、円）



のれんの一時償却実施

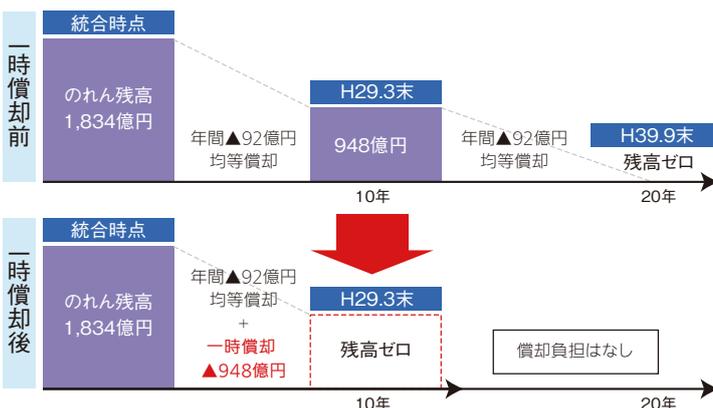
当社が保有する連結子会社のうち熊本銀行および親和銀行（以下、「両行」）の株式について、経営統合時には想定されなかった経営環境の著しい変化、とりわけマイナス金利の影響などを踏まえて株式価値の再評価を行った結果、子会社株式評価損を計上しました。

これにより、連結貸借対照表に計上されていた両行に係るのれん未償却の全額948億円を前倒して一括償却しました。

こののれんは両行経営統合時、合計で1,834億円を計上し、毎年92億円の均等償却を行ってまいりましたが、次年度以降は償却負担がなくなるため、収益性・資本効率性が向上します。

また、のれんは自己資本比率の算定上、元々控除されていたため、本件による自己資本への影響はなく、健全性には何ら影響はありません。なお、本件は一過性の赤字であり、本件を除くと本業は堅調ですので、公表どおり年間13円の配当を行います。

● のれん償却のスケジュール（一時償却前・後）



● のれんの一時償却による影響

項目	影響	
	28年度	29年度以降
自己資本比率	→	→
当期純利益	↓	↑
ROE（株主資本利益率）	↓	↑
EPS（一株当たり利益）	↓	↑
配当（一株当たり）	→	↑

※影響の↑↓は、あくまでものれんの一時償却を「行った場合」と「行わなかった場合」との比較であり、その他の要因は一定として記載。なお、記載の連結自己資本比率は、銀行法上の自己資本比率を意味する。



ふくおかフィナンシャルグループ 平成28年度の業績ハイライト

損益状況

●3行単体合算

(単位:億円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
業 務 粗 利 益	1,789	1,754	▲35
資 金 利 益	1,500	1,497	▲3
役 務 取 引 等 利 益	219	194	▲25
特 定 取 引 利 益	0	0	▲0
そ の 他 業 務 利 益	69	62	▲7
経費(除く臨時処理分)▲	1,000	1,015	16
業 務 純 益	789	863	73
コ ア 業 務 純 益	764	713	▲50
信 用 コ ス ト ▲	▲36	▲16	20

●FFG連結

経 常 利 益	714	▲344	▲1,059
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	447	▲543	▲990

■コア業務純益

資金利益はマイナス金利導入等による利回り低下影響を貸出金ボリューム増加や資金調達コストの削減等でほぼカバーしました。一方、役務取引等利益が減少し、また、経費が増加したことから、コア業務純益は、前年比▲50億円減少の713億円となりました。

■連結経常利益

のれんの一時償却(▲948億円)及び信用コストの増加により、▲344億円となりました。

■親会社株主に帰属する当期純利益

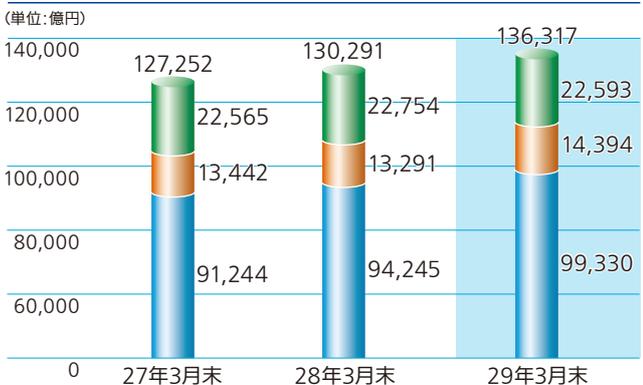
以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は▲543億円の赤字となりましたが、のれんの一時償却を除くベースでは405億円となります。

総資金(預金+NCD)の状況(3行単体合算)

総資金(預金+NCD)は、個人預金を中心に堅調に推移した結果、前年度末比6,025億円増加し、13兆6,317億円となりました。

※NCD…譲渡性預金

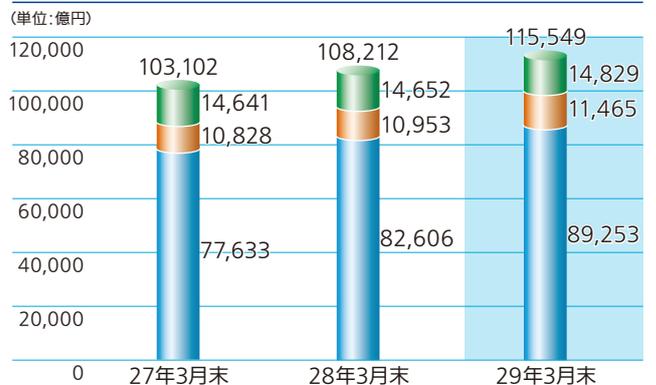
総資金残高(期末残高)



貸出金の状況(3行単体合算)

貸出金は、地元企業や個人のお客さまの資金ニーズに積極的に応えた結果、前年度末比7,336億円増加し、11兆5,549億円となりました。

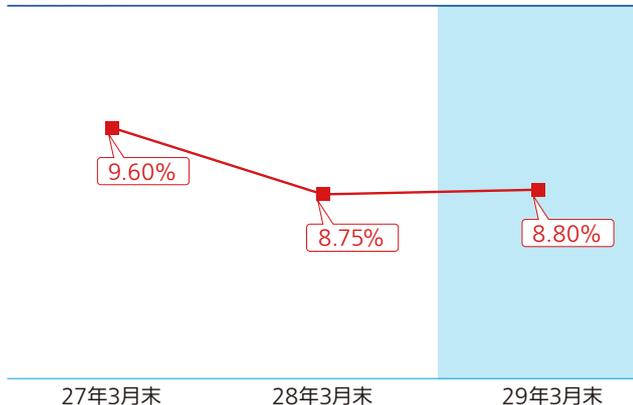
貸出金残高(期末残高)



自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率[パーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.05%上昇し、8.80%となりました。

自己資本比率



不良債権の状況(3行単体合算・部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比▲74億円減少し、2,300億円となりました。不良債権比率は同▲0.20%低下し、1.97%となりました。

不良債権残高・比率





福岡銀行 平成28年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
業務粗利益	1,295	1,295	0
資金利益	1,077	1,079	2
国内部門	1,009	1,013	4
国際部門	68	66	▲2
役務取引等利益	157	151	▲6
特定取引利益	0	0	▲0
その他業務利益	60	65	5
経費(除く臨時処理分)▲	661	677	16
業務純益	634	732	98
コア業務純益	614	589	▲25
経常利益	668	601	▲67
当期純利益	456	442	▲15
信用コスト▲	▲18	▲4	14

■コア業務純益

役務取引等利益の減少及び経費の増加等により、前年比▲25億円減少の589億円となりました。

■経常利益

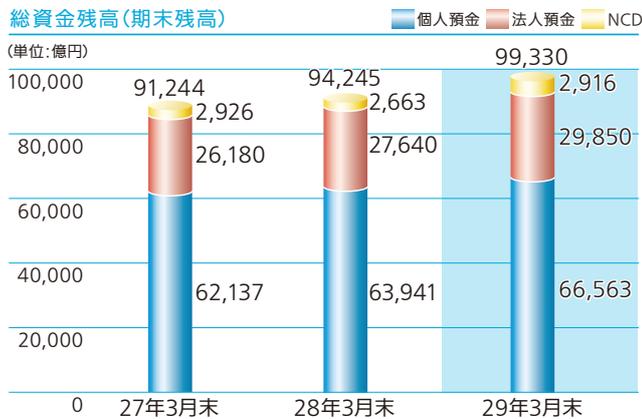
コア業務純益の減少に加え、信用コストの増加(戻り益減少)等により、前年比▲67億円減少の601億円となりました。

■当期純利益

前年比▲15億円減少の442億円となりました。

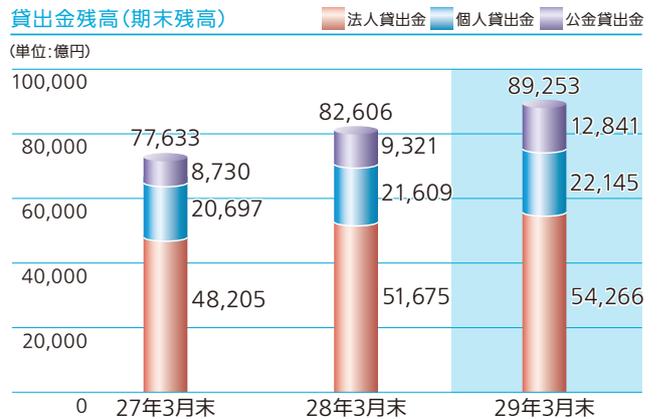
総資金(預金+NCD)の状況

総資金(預金+NCD)は、個人預金・法人預金ともに順調に増加した結果、前年度末比5,084億円増加し、9兆9,330億円となりました。



貸出金の状況

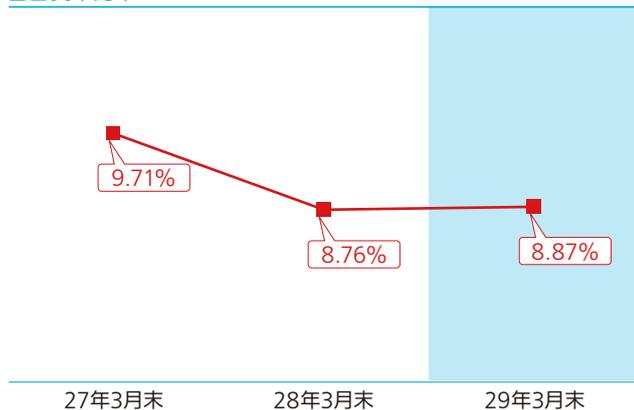
貸出金は、法人貸出金・個人貸出金ともに順調に増加した結果、前年度末比6,647億円増加し、8兆9,253億円となりました。



自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率[パーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.11%上昇し、8.87%となりました。

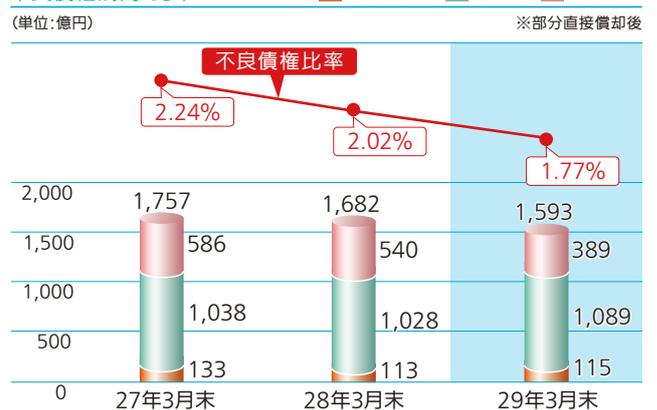
自己資本比率



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比▲89億円減少し、1,593億円となりました。不良債権比率は同▲0.25%低下し、1.77%となりました。

不良債権残高・比率





熊本銀行 平成28年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
業 務 粗 利 益	208	191	▲ 17
資 金 利 益	182	177	▲ 4
国内部門	181	177	▲ 5
国際部門	0	1	0
役 務 取 引 等 利 益	24	14	▲ 10
そ の 他 業 務 利 益	2	▲ 1	▲ 3
経費(除く臨時処理分)▲	138	139	2
業 務 純 益	70	43	▲ 27
コ ア 業 務 純 益	69	52	▲ 17
経 常 利 益	74	27	▲ 47
当 期 純 利 益	53	15	▲ 38
信 用 コ ス ト ▲	▲ 10	19	29

■コア業務純益

資金利益及び役務取引等利益の減少等により、前年比▲17億円減少の52億円となりました。

■経常利益

コア業務純益の減少に加え、信用コストの増加等により前年比▲47億円減少の27億円となりました。

■当期純利益

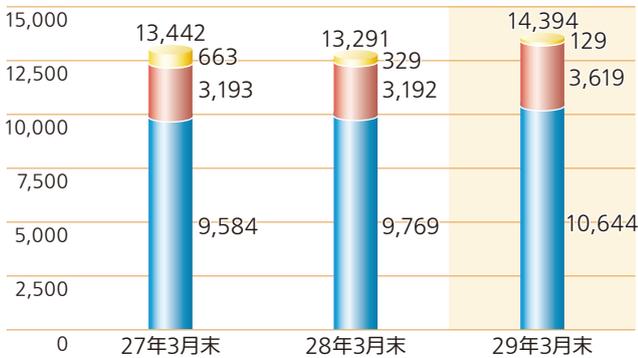
前年比▲38億円減少の15億円となりました。

総資金(預金+NCD)の状況

総資金(預金+NCD)は、個人預金・法人預金ともに順調に増加した結果、前年度末比1,102億円増加し、1兆4,394億円となりました。

総資金残高(期末残高)

(単位:億円)

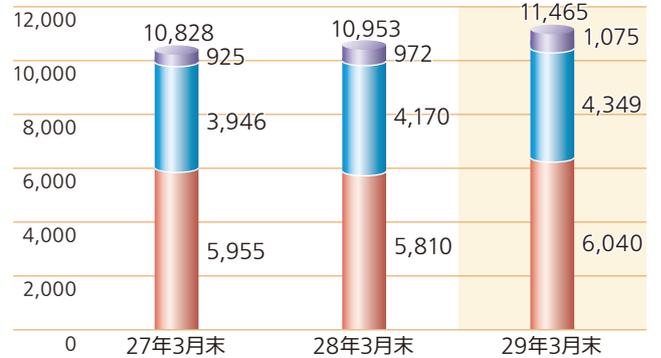


貸出金の状況

貸出金は、法人貸出金・個人貸出金ともに順調に増加した結果、前年度末比511億円増加し、1兆1,465億円となりました。

貸出金残高(期末残高)

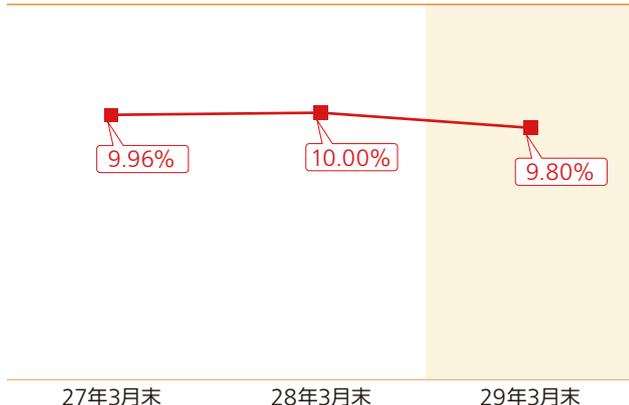
(単位:億円)



自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比▲0.20%低下し、9.80%となりました。

自己資本比率



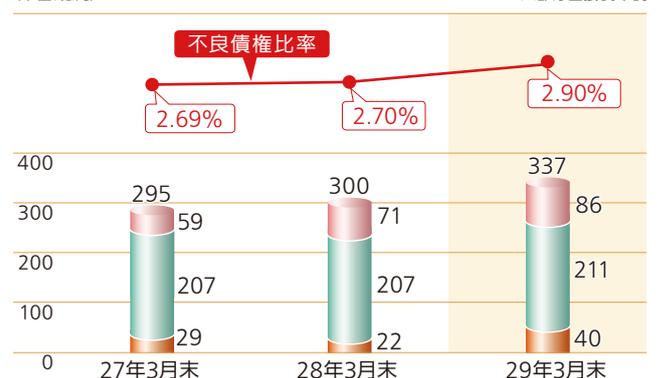
不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比37億円増加し、337億円となりました。不良債権比率は同0.20%上昇し、2.90%となりました。

不良債権残高・比率

(単位:億円)

※部分直接償却後





親和銀行 平成28年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
業務粗利益	287	268	▲18
資金利益	241	240	▲1
国内部門	241	239	▲2
国際部門	0	1	1
役務取引等利益	39	30	▲9
その他業務利益	7	▲2	▲9
経費(除く臨時処理分)▲	201	199	▲2
業務純益	85	69	▲17
コア業務純益	81	72	▲9
経常利益	77	94	17
当期純利益	52	74	22
信用コスト▲	▲8	▲31	▲23

■コア業務純益

役務取引等利益の減少等により、前年比▲9億円減少の72億円となりました。

■経常利益

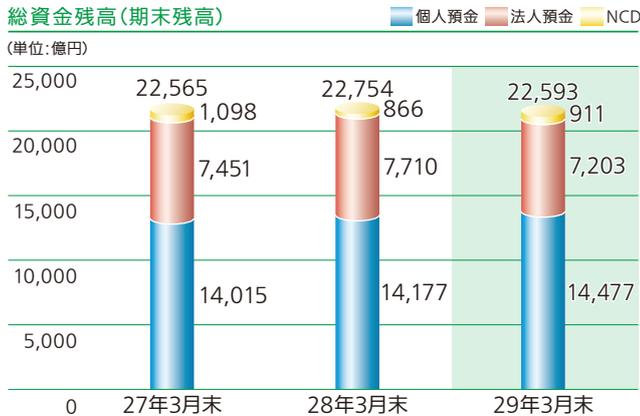
コア業務純益は減少したものの、信用コストの減少(戻り益増加)等により、前年比17億円増加の94億円となりました。

■当期純利益

前年比22億円増加の74億円となりました。

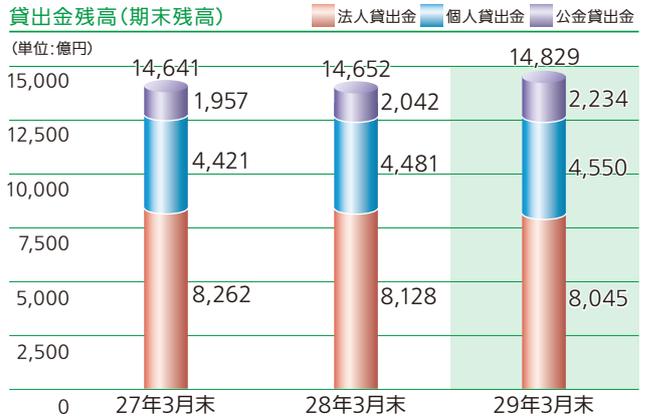
総資金(預金+NCD)の状況

総資金(預金+NCD)は、前年度末比▲161億円減少し、2兆2,593億円となりました。



貸出金の状況

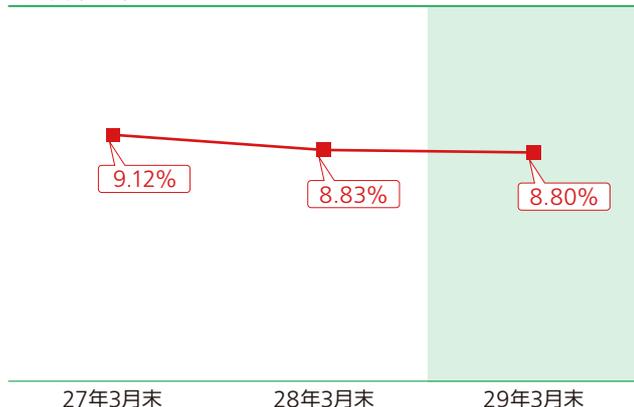
貸出金は、個人貸出金が堅調に推移した結果、前年度末比177億円増加し、1兆4,829億円となりました。



自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比▲0.03%低下し、8.80%となりました。

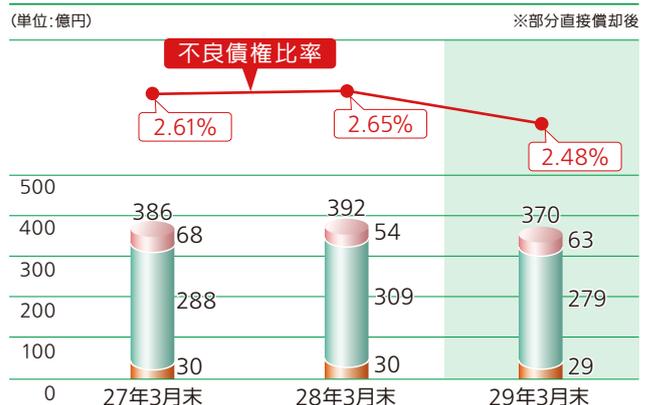
自己資本比率



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比▲22億円減少し、370億円となりました。不良債権比率は同▲0.17%低下し、2.48%となりました。

不良債権残高・比率



グループ銀行プロフィール

平成29年3月末日現在

ふくおかフィナンシャルグループは九州を基盤とした広域展開型地域金融グループです。



設立日 平成19年4月2日
 本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目8番3号
 資本金 1,247億円
 従業員数 6,865人
 電話(代表) 092-723-2500
 U R L <http://www.fukuoka-fg.com/>

■ 連結子会社 17社
 (うち福岡銀行連結 12社)

■ 格付情報

A+ R&I 発行体格付	A JCR 長期優先 債務格付
------------------------	------------------------------

福岡銀行

設立日 昭和20年3月31日
 本店所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号
 資本金 823億円
 従業員数 3,724人
 電話(代表) 092-723-2131
 U R L <http://www.fukuokabank.co.jp/>

明治10年、第十七国立銀行として創業。
 九州全域を営業エリアとする。

貸出金	資金量	格付
8.9 兆円	9.9 兆円	AA-* ₁ A+ * ₂ A3 * ₃

*1 R&I 発行体格付 *2 JCR 長期優先債務格付 *3 Moody's 長期預金格付(平成29年6月6日時点)

熊本銀行

設立日 昭和4年1月19日
 熊本市中心区水前寺六丁目29番20号
 資本金 338億円
 従業員数 932人
 電話(代表) 096-385-1111
 U R L <http://www.kumamotobank.co.jp/>

昭和4年創業。
 熊本県内を主要営業エリアとする。

貸出金	資金量	格付
1.1 兆円	1.4 兆円	A+* ₁ A * ₂

親和銀行

設立日 昭和14年9月1日
 長崎県佐世保市島瀬町10番12号
 資本金 368億円
 従業員数 1,211人
 電話(代表) 0956-24-5111
 U R L <http://www.shinwabank.co.jp/>

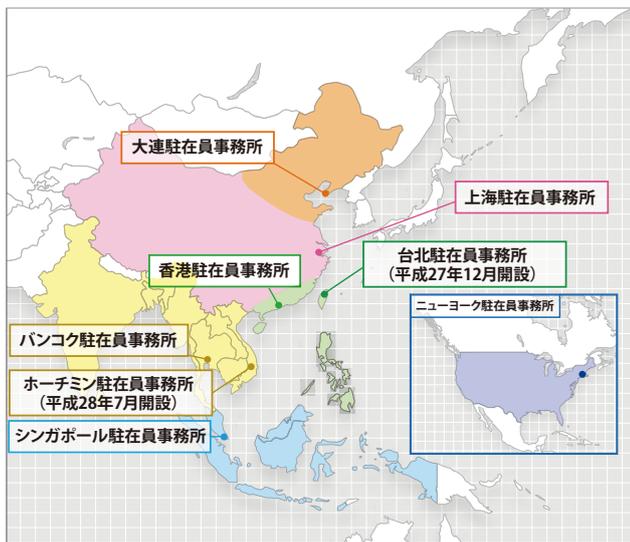
明治12年、第九十九国立銀行として創業。
 長崎県内を主要営業エリアとする。

貸出金	資金量	格付
1.4 兆円	2.2 兆円	A+* ₁ A * ₂

FFGのネットワーク

平成29年5月末日現在

海外ネットワーク



FFG 福岡かフィナンシャルグループ



商号等	株式会社福岡銀行	株式会社熊本銀行	株式会社親和銀行
登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	九州財務局長(登金)第6号	福岡財務支局長(登金)第3号
加入協会	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会	日本証券業協会	日本証券業協会